

フリースクールの運営に係る公的支援に関する請願書

紹介議員 小川 隆史
 紹介議員 和田 一繁
 紹介議員 中野 正剛
 紹介議員 小川 吉則
 紹介議員 角井 英明
 紹介議員 伊藤 君子
 奥野 嘉己
 森野 克彦

請願趣旨

文部科学省が公表した調査によりますと、昨年度に不登校が理由で小中学校を30日以上欠席した児童生徒は24万4940人で、過去最多を更新しました。増加は9年連続で、10年前と比較すると小学生は3.6倍、中学生は1.7倍増となります。

また、彦根市では、小学校で128人（在籍率2.06%）、中学校で186人（在籍率6.07%）と、子どもの数は減じているのに、不登校は増加の一途をたどっています。一旦不登校になると、学校以外の選択肢が少ないのが現状です。家から出られない子どもたちもたくさんいます。

一方、フリースクールは、不登校の子どもたちの学校以外の「居場所」としてニーズが高まっています。「てだのふあ」においても、約40人の子どもたちが在籍し、一日平均約15人が通所しています。子どもたちは、安心して休息し、エネルギーを蓄え、異年齢集団の中で、実に生き生きと活動しています。本来の個性が豊かに開花しつつあります。

さらに、法律に目を向けますと、2017年にいわゆる「教育機会確保法」が施行され、不登校の子どもを自治体が支援することを初めて明記しました。フリースクールの公的支援については、「国や自治体に環境整備を求める」としています。

昨年11月の定例会では、「学校以外にも、子どもの状況に応じて支援を受けられる体制を整える必要がある。フリースクール等はその一翼を担っていると認識しており、連携・協働は必要である」（教育長答弁）としながらも、運営費に対しては1円の支援も受けておりません。私たちは、子どもたちの学習保障と持続可能な運営のために、行政からの支援を必要としています。県や国への要望だけでなく、足元からの支援をお願いします。

以上のことから、次のことを要請いたします。

ぜひ、実現いただきますよう、よろしく申し上げます。

請願事項

1. フリースクールの運営に係る公的支援をお願いします。

2023 年 6 月 7 日

請願者

住所 滋賀県彦根市城町2丁目6番47号
 氏名 山下 吉和

彦根市議会議長
 上杉 正敏様

